

第2学年 ホームルーム活動（人権）学習指導案

1 主 題 障がい者の人権

2 主題設定の理由（省略）

3 ね ら い

自分自身と向き合いながら、困難を乗り越えようとすることの大切さに気付くとともに、障がいを個性の一つとして尊重し、誰もが自分らしく生きることができる共生社会の実現に向けて行動していこうとする態度を養う。

4 指 導 計 画

（1）これまでの学習

第1回 地球市民として行動しよう（SDGs等の視点から）・・・・・・・・・・1時間

第2回 仲間の気持ちを学ぶ（夏休みの人権作文等より）・・・・・・・・・・1時間

（2）本時の学習

第3回 様々な人権問題①（障がい者の人権）・・・・・・・・・・1時間

（3）これからの学習

第4回 様々な人権問題②（性的マイノリティについて）・・・・・・・・・・1時間

5 本 時 の 学 習

（1）目標

① 障がい者を取り巻く現状を自分事として捉えて理解させる。

② 障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく生きることができる共生社会の実現に向けて行動していこうとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ・・・個性の尊重，共生

個別人権課題名・・・・・・・・障がい者

(3) 展開

	学 習 活 動	指導上の留意点	評 価
導入 5分	○本時のテーマと目標を確認する。	○本時の目標を説明する。	
展開 35分	○障がいを理由に大学側が受験を断るといった差別があったことを理解する。 ○「障害者差別解消法」が施行された背景や内容を理解する。 ○脳性麻痺による肢体不自由の生徒が実際に行った代筆受験による大学受験を疑似体験し、感想を発表する。 ○動画を視聴する（10分）。 脳性麻痺による肢体不自由の生徒が代筆受験している様子と夢の実現のため大学で学ぶ姿を視聴し、感想を発表する。	○障がいを理由に教育を受ける権利を侵害されたという事象を紹介する。 ○障がいを理由とする不当な差別の禁止や合理的配慮について説明する。 ○ペアになって数学の問題を代筆により解答させることで、自分事として考えさせる。 ○様々な困難に直面しても、自分を信じあきらめないことや互いに支え合うことの大切さを伝える。	○障がいを理由とする差別によって、権利が奪われることを理解できたか。 （知識的側面） ○「障害者差別解消法」が施行された背景や内容を理解できたか。 （知識的側面） ○疑似体験を通して、障がい者の立場に立って自分事として考えることができたか。 （価値的・態度的側面） ○他者の考えや意見を肯定的に受け止めるとともに、自分の考えを発表することができたか。 （技能的側面）
まとめ 10分	○本時のまとめを聞き、感想をワークシートに書く。	○障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく生きることができ共生社会の実現に向けて行動することの大切さを伝える。	○障がいの有無にかかわらず、誰もが自分らしく生きることができ共生社会の実現に向けて行動していこうとする意欲を高めることができたか。 （価値的・態度的側面）